**現場の週報から（令和3年3月1日～4月4日）**

**【3月1日～3月7日】**

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・暖かい日が続き、ご入居者の方と駐車場近辺をお散歩する機会が増えてきました。「暖かいと思ったけど、まだ風は冷たいね～」「もう少しで桜の花が咲くんだね～」と春が訪れるのを待ち遠しく感じていらっしゃいました。今年も、きれいに咲き誇る桜のお花見が楽しみです。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・3日ひな祭りのイベントとして手作りのスイーツバイキングを行いました。菱餅をイメージしたイチゴ・メロンゼリー、プリン、ロールケーキ、フルーツ盛り合わせ、ひなあられを準備し、初めは遠慮がちだった皆さんも、雰囲気を掴んでからは堰を切ったようにお好きなものを積極的に選んで楽しまれていました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・久しぶりの床屋でした。長い方だと3ヶ月振りです。口々に「よかったーさっぱりしました」「プロにしてもらって若くなったでしょ？」と笑顔で話されました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・２、３、５日　桜餅作り。３日間に分けて、手作りで桜餅を作りました。その後皆さんで美味しく召し上がられ、とても良い季節の行事となりました。

・３日ひな祭り　桃の花をバックに一人一人写真を撮り、とても喜ばれておられました。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・料理や手作業など器用にされる最高齢のKさん。他の方がオセロをしていると、その様子をじ～と眺めておりました。やってみるとのことでおそらく人生初めての経験です。職員に聞きながらしっかりとされており、時々自分の色が少なくなると「負けたわ」と、悔しがる場面も見られます。途中「これもか？」と、少しでもひっくりかえそうとされたり勝負に負けまいとする姿も。結果は3個の僅差で勝利。万歳と笑顔で初めてのオセロを楽しまれたご様子でした。お嫁さんにご報告すると「そうですか、多分やったことないです」と、微笑んでおりました。皆さんでちらし寿司作りをしたり、甘酒を飲んだり、毎年畑を一生懸命されるIさんはニンニクなどが植えられている畑の草取りにとりかかったり、車いすの方への配慮でスロープ下の砂利の上にゴムマットを敷き詰め固定する作業では、自らお手伝いして下さったKさんは「面白かった」と、感想を述べておりました。歌声がきれいですてきなNさんはその様子を眺めながら歌を歌って日向ぼっこ。足腰が弱くなって外に出掛けるのがおっくうになっているFさんも、日向ぼっこをしながら見学しその後自ら「散歩に行くから」と、久しぶりにご自身で前向きに散歩を少しされ、晴れやかな表情を浮かべておりました。

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・３日は桜もち作りイベントを行いました。皆さん作り始める前から「楽しみ～」や「早く食べたい！」とお話されておりました。甘酒も一緒にお出しでき「何十年ぶりに飲みました～美味しかった！！」とご満悦でした。ご本人との対話の中で「今年は雛人形を飾らないの？」とあり直ぐに対話を通して行動に移してくれた職員に感謝です。これからも対話を大事に過ごしていきたいと思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・人生会議がはじまりました。ご本人にとって大切なご家族と話し合う機会の席に一緒に立ち会い、想いを聴いています。意外な返答に感動し涙するご家族もいらっしゃり、有意義な話し合いの場になっています。もっと早くこのような機会があったらよかったと今感じています。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・それぞれのユニットでひな祭りのイベントを実施しました。ご利用者の方と一緒に、さくら餅やちらし寿司作りを行い、普段はあまり料理に興味を示されないかたも、楽しそうに参加されていました。出来上がった料理を召し上がり、「美味しいね～。」と満面の笑みで皆さん話されていたのがとても印象的でした。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・天候の良い日に榴ケ岡天満宮で梅の花が咲いていると聞きドライブに出かけ、桃の節句ということで秋保へ「つるし雛」を見に出かけております。「今日はあったかいね」「凄くかわいいお花が咲いてたよ。あっという間に春なんだね」と春の訪れを感じ、「つるし雛」を見に行かれた男性のご利用者は「何だか見るところがいっぱいあって、どこみていいのか分からなかったよ」と沢山かざってある飾りに驚かれたと教えて下さり、女性の方は「手作りの綺麗さだよね」と話されておりました。出かけやすい天候になり皆さん満開の桜も楽しみにしております。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・先週は、お天気が良い時は散歩にお出掛けし、新鮮な空気と日光を浴びながらゆづるの近所を散歩しました。春の訪れを感じながら桜が咲いたらお花見に出掛けたいねとの声も聞かれておりました。また、水曜日には桜餅づくりをしました。手作りの美味しい桜餅ができあがり、GHにも桜餅をあげ大変喜ばれておりました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・だいぶ暖かい日が続きました。敷地内の梅の花も開き始めています。人生会議をきっかけに、久しぶりに面会に来られるご家族さんとしばし良い時間を過ごしました。ご家族さんは、ご本人がどうされたいかをお話しているご様子に真剣に耳を傾けられていました。「本人がそう言っても、家族としては何もしないわけには…。」と思われるご家族もおられました。自然のことと思います。ご家族さんのご本人への想いも受け止めておきたいと思いました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・今週は暖かい日があり、午後からドライブに行きました。久しぶりのドライブで行かれたご利用者からは「外はいいね」、「ドライブはいいな」と声が聴かれておりました。春を感じる気温になってきているので外出の機会を作りながら、季節を感じるイベントを行っていきます。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・3日にひな祭りを行いました。お昼のメニューはご利用者のリクエストにより、王道のちらし寿司でした。ご利用者でいつも昼食作りを手伝ってくださるＩさんには天ぷらを揚げて頂きました。カボチャ、大葉、カニカマをカラッとサクサクに揚げて頂き、他のご利用者さんや職員からは「プロみたい、お店にも出せそうだよね。」と、大変好評でした。ご本人も照れながらも満面の笑みでした。午後には皆さんで一緒に作った、お雛様の顔出しパネルでお一人お一人、記念撮影をしました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・人生会議の日程調整の連絡を開始し、すでに何組かのご家族とお話しをしている状況です。

ご家族には初めて聞く言葉ということで、具体的な場面や例なども交えながら話し合いをしています。

積極的な治療は望まない。自然なままで。というご家族にも、激しい痛みや、治療すれば治るとしたらどうですか？など、なるべく具体的な内容になるように工夫をしています。そうすることで、ご家族からも「痛みは本人も昔から弱いから、そういう物が出てきたらそこは緩和して欲しい」「治る物は治療して欲しい」「治る物は治療をして欲しい気持ちはあるが、それに伴い危険などが大きい場合、そこはその時にならないと分からない」など返答もありました。また、来週はご本人も参加しての人生会議の予定もあり、本日事前にご本人に時間を貰い先に説明をしました。突然な話ですみません。等と話すと「そうだけど、事前に説明されないとその時に答えられないからね。けど、私は簡単に言えば、延命はしないって前から決めているの。当日にもそのようにお話ししますね」等と、自分の考えを話してくれました。来週、再度ご家族も交えて色々お話しをしたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・3日はひな祭ということで、昼食には各ユニットでちらし寿司を作って食べました。みなさん、いつもよりちょっと豪華な昼食に満足されていました。

・3日の夜にＵさんが亡くなりました。お看取りということでGHに戻ってきましたが、まずはGHでのお看取を選んでいただいたことに感謝しています。ご本人の好きなあんこやうどんを食べていただき、おいしいと言って下さったこと、笑顔を見せて下さったことが嬉しかったです。状態が変化してから呼吸が止まるまでの時間が早すぎて、正直、心の準備が出来ないままのお別れとなってしまいました。改めて1日1日が貴重な時間であり、ご本人の想いを大切に過ごしていきたいと思いました。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・3日の午前中にひな祭りのお祝い行いました。皆でひなあられや甘酒を嗜み、桃の花を見ながら皆さん話が弾んでおりました。普段、あまり食欲がない方も職員が驚くくらいひなあられを召し上がっておりました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・３日 １階ユニットにてひな祭りイベントと３日 誕生日の西岡こいし様の誕生会を行いました。

・４日 ２階ユニットにてひな祭りイベントを行いました。中華おこわやお漬物、お浸しにお吸物をご利用者の皆様と一緒に作りました。おやつのくるみ団子は、くるみをすり鉢でつぶして一から味付けし、皆様ほっかぶりをされながら一生懸命にすられていました。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・先週から人生会議が始まりました。会議の中で様々な想いを知る中で、参加されたご家族から「今までこういう話をしたことがなかったので、初めて本人の想いを聴くことができました」と涙ながらに話されていた方が印象的でした。今回の取り組みで終わりではなく、これが始まりだと思います。何度も話し合いを重ねることで、ご本人が自ら望む生活を送りきることができるよう、ご家族の繋がりを紡ぎ、強めるための良い時間となるよう応援していきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・３日ひな祭りイベントを行いました。Ｔさんがカップケーキのレシピを書いてきてくれました。それをもとにＴさんと一緒にカップケーキ作りをしました。「うまくできたよ」と喜がれておりました。

みんなでカップケーキを食べた後は、お内裏様、お雛様に扮したスタッフへ衣装を送る物送りゲームを行いました。皆さん大盛り上がりで笑い声が絶えず楽しい時間を過ごすことができました。

**【3月8日～3月14日】**

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・引き続き、人生会議を行っています。「こんな話できて、すっきりした。」と会議を終えて、少し涙ぐんで話される話Ａさん。「できるうちは好きな事を続けたい」「それが自分らしさだから」そう笑顔で話されるＡさん。居心地良く暮らしていけるよう、見守っていきたいと感じます。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・人生会議を始めています。ご本人からは「質問の意味が難しいね」と話があり、かみ砕いての説明や今答えを出す必要がない事なども含めて伝える難しさを感じています。ご家族が本人の想いを知って「そんな風に言っていたの？」と驚かれる方もいらっしゃいます。こまめに話の機会を持ちたいと思います。

・Ｈさんの教え子が新潟から会いに来ました。毎年行っていた同窓会、去年は体調不良で今年はコロナで集まれず、会いに来てくれました。「住所が分かればみんなへ教えます」とご縁が途切れずにつながっています。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・9日、12日は絵手紙作り。野菜を切り、絵の具をつけて皆さん思うように作成し、楽しまれておられました。

・11日は天気も良く、ご本人から動物を見に行きたいとのお話があり動物愛護センターへ行きました。久しぶりの外出となり、とても喜んでおられました。日に日に暖かくなって来ておりますので、今後も話を聞きながら共に楽しめる活動をしていきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・近隣の公民館に吊るし雛の見学に出掛けております。「このうさぎ可愛いね」と、Sさんが興味のある動物の展示に興味を示されたり、Kさんは「随分細かいんだね」と覗き込むようにして感想を述べたり、じ～と作品を眺めている方もおり、みなさんそれぞれが季節感や何かのメッセージを受けているご様子でした。天気が良い日に玄関の広場で日光浴をする機会も増えてきました。数人で歌を歌ったり、談笑したり、お茶目なことをして周りの方々をほっこりさせたりと、仲間と共に風やにおい・春の訪れを肌で感じながら、日常の何気ない風景に、利用者さん・職員さんの笑顔が溢れている瞬間がこれからも続いていくことを大切に過ごしていきたいと感じました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・９日は日差しも暖かく、急きょ農業園芸センターに梅の花を見に行ってきました。現地は海風か思ったより寒くスタッフが「梅が咲いていますよ」と枝を指で差すも「本当だ、でも寒いね～」と。皆さんは花を愛でるというよりは「寒い」の方が勝っていたようです。次回リベンジしたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・12日～13日にかけて、Ｈさんがご家族様と一緒に温泉旅行に行かれております。ZOOMでは何度か顔を合わせておりましたが、娘さんが埼玉在住ということもあり、直接お会いしたのは３カ月前の入所以来ぶり。Ｈさんもとても喜んでおりました。いずみの杜帰所は何処に行ったかは忘れてしまったようでしたが、「何だか楽しかったような気がする…！」とお話され、想い出は残っているようでした。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・11日に「めぶきの杜　６周年記念パーティー」を行いました。毎年恒例の「めぶき寿司」オープンし、手作りお寿司をお出ししてお祝いしました。普段、食の細い方も「美味しかった！」と召し上がって頂きました。午後は、スタッフの出し物「腹踊り、傘回し」を披露しました。丁度、学生さんの見学もあり、入居者さんと一緒に楽しんで頂いたかと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・震災から10年が経ちました。3/11にご利用者と職員と黙祷を捧げました。今週はご利用者と職員と震災のお話をする機会がありました。「震災の時は大変だったね。」、「元気で過ごせていることに感謝だね。」一人一人がいろいろな想いを考えながら過ごした１週間だったと思います。これからも震災の教訓を忘れずに過ごしたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・9日に老健のＳさん、Ｉさん、Ｎさん、Ｍさんと日本そばを食べに行きました。当初Ｓさんから「しなそばが食べたい」と希望がありましたが、良い店がみつからず、「八乙女に美味しいそば屋があるからそこでもいい」と仰ってくださり行っております。「美味しかった！」と大満足の表情で皆さん帰所されました。どこか美味しい「しなそば」のお店があれば教えてください。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・11日はもはや恒例となりつつあるマクドナルドドライブスルーイベントでした。ご希望者が12名だったのですが、コロナ感染予防対策もふまえて別日18日と分散させて頂き実施致しました。段々温かくなり、お花見の話しもちらほら皆さんから聞こえてきております。工夫をしながら、日々の生活の楽しみをもって生活が出来るようにしていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・3月にお誕生日を迎えられたご利用者さんにサプライズでお寿司とお誕生日カードでお祝いをしました。後日、連絡帳にご家族よりコメントがありました。「お祝いをして頂きありがとうございます。お昼はお寿司だったのよ！と嬉しそうにその日のことを話してくれました。また、本人が誕生日カードの写真を見て、随分白髪になっちゃった！！と言っていました」白髪でも何故か若々しいです（\*^\_^\*）

・3/11には東日本大震災のテレビの映像に、皆さんは目をそらさずに真剣に見つめていました。当時、お店をされていたご利用者が、倒れないように商品棚をおさえていたこと等何回も教えて下さいました。「当時も大変だったけど、今はコロナで大変だね。目に見えないから厄介だよ。人込みにはいかないほうがいいね。マスクしてないと駄目だよ」など皆さんでコロナの対策の話し合いになっていました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今月はお誕生者の方が多く、今週はMさんのお誕生会を行いました。バースデイソングはもちろんですが、お祝いにとみなさんのご存じの曲を歌いました。「二人は若い」は手拍子と共に皆さん盛り上がり、次は？次は？と歌がとまりません。「青い山脈」「大漁歌いこみ」「お富さん」お帰り直前まで歌がとまらず、「いや～楽しいねえ」と帰路につかれました。ゆかりの杜ここにあり！という楽しい時間を皆さんで過ごしました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・14日にホワイトデーイベントを行いました。昼食は出前を取ってわっかふぇで食べました（カレーライス、かつ丼、親子丼、天ぷらそば、肉うどん等）。ボリューム満点で、食べ応えがあったと皆さん話しておりました。お菓子の袋詰めではその場でお菓子を食べたり、袋に詰めて持ち帰ったりとそれぞれ自由に行っていただきました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻末さん

・2階つつみユニットでは３日にひな祭りイベントを行っています。

昼食にはちらし寿司を食べ女性の利用者さん達は「あら～！きれい！またお嫁に行かないといけないわね！」と綺麗なお寿司に喜ばれておりました。

おやつには利用者さん全員でチョコフォンデュパーティーを行い、ほとんどの利用者さんはチョコフォンデュが初体験、「若い子の食べ物は珍しいわね！楽しいわね！」とイチゴやバナナ、マシュマロ等お好きな具材にチョコを付け召し上がっていました。コロナ感染予防で二度付けは禁止、関西出身のご利用者さんは「串カツみたいで楽しいな！」と皆さま楽しまれておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・人生会議をすすめています。「人生会議って何ですか？」「急に言われても…」と戸惑うご家族も多く何度も丁寧に説明しています。大切にしていることはまずはご本人に聞くこと。意外とご本人とお話をすると「んだなー、そうなったら○○だな」と考えながらも言葉を返してくれます。Tさんの人生会議では、後半になると旦那さんとのなれそめの話になり、若い時の苦労話（嫁ぎ先が遠く孤独だった、兄弟の借金問題等）をしながら「どんな時も二人で乗り越えてきたんだ」と涙ながらにお話しされ、ご本人のことをまた更に教えていただきました。きっとその中に今これからのケアに生かしていくヒントがあるように思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・先週は、ドライブにて榴岡公園へ梅の花を見にドライブに出かけています。春の訪れを皆様感じ、顔も晴れやかな表情で戻られました。「梅の花綺麗だった」「やっぱり外の空気は気持ちいい」など皆様話され免疫アップしてまいりました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・暖かい日が続き、ご利用者少人数で泉方面へドライブに出かけております。梅の花が咲いており、「きれいだね」「いい景色だね」などおしゃべりしながら楽しい時間を過ごすことができました。これからも季節感を感じて頂きながらご本人の意向に沿い、支援できればと思います。これからの時期は桜を見にドライブを計画できればと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・人生会議を実施している最中です。ご本人にも入って貰いながら、まずはご本人に色々と聞き、それに対して自分の考えを一生懸命に話されていました。それを受けてご家族は「予想通りの考え、答えだった！」「本人は〇〇と言ったが、家族としては〇〇については少し〇〇してもいいかな？！と思ったりもする」等、それぞれの意見などが出ました。また、「親戚の人や母の兄弟がいよいよとなった時に、こういった話を昔からよくしていた。その時の母の話した内容と、今の母の答えは変わっていないので、やっぱりその考えは尊重したい。今日は色々聞けて良かった。安心です」という方もいれば、「今まで一度もこういう話をした事がなかった。だから今は自分の考えを伝える事が出来なくなってしまって…。今私達の考えをお伝えしましたが、本当の母の気持ちはどうなんだろうね。けど、私達から見る母の性格や人柄、考え方などからすると、今伝えた内容で母も同意はしてくれるんじゃないかなと思います」など、私もご家族と改めて深い話をする良いきっかけになっています。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・利用者さんと一緒に会話の中から、外出するなら 何処に行きたいか、そこで何をしたいのかを聞きながら今後の関わりについて利用者さんと考えました。季節柄、桜の花をゆっくり観賞したいという意見が一番多く聞かれました。外食に行って、美味しいものをゆっくり食べたいとの意見も多く聞かれました。外食に関しては少し注意が必要になりますが、出前や持ち帰りのサービスを使ったりしながら利用者さんに美味しい物を食べて頂きたいと思います。桜の花は、沢山の利用者さんをご案内し、ゆっくりと観賞した後に写真を沢山撮ってみなさんに差し上げたいと思います。

**【3月15日～3月21日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・梅や桃の花がみごろになってきたのではと、農業園芸センターへドライブ外出をしております。天気も良く木曜日に行かれた方が「いいよ！今が見ごろになってきたよ」と教えて下さり、金曜日のご利用者の方へ伝えると「いいね、今しか見れないものだから、もたもたしてると散っちゃうよ！さあ、行こう」と意気揚々と出かけました。「凄く良かったよ！家にいたら連れていいてくれる人もいないし、一人ではいけないし。皆で出かけてありがたいね。体が動く限りは出かけなきゃ」と出発前よりも若々しいお姿と笑顔に職員も元気を頂きました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・入居者のみなさんと敷地内の散歩を行っておりますが、スイセンの花も咲いてきており春の訪れをみなさん喜ばれております。コロナ禍だからこそ、入居者のみなさんと濃い時間を過ごせているのかと感じる時もありますが、この関わりの時間はどんな時でも大切にしたいなと改めて感じます。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・緊急事態宣言が出たことで、利用者さんにはまた窮屈な思いをさせてしまうかもしれませんが、対策を行いながら、外に出て春を感じていただいたり、室内でも気分転換になることを行っていきたいと思います。

・以前好評だったシイタケの栽培を再び始めました。Oさんが毎日お世話をして下さり、本日、立派に育ったシイタケの収穫を行い、さっそく食べました。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・ある日の食後いつもは眠くなって横になって休まれるご高齢の女性Sさん。お話し好きな女性のSさんと、女性職員さんたちのお子さんの話題で話しが盛り上がり、眠るどころか目をパッチリ開けて会話に混ざり、何度も表情を崩し笑われる様子が見られました。お話し好きのSさんはお子さんを3人育てられましたが、その会話の流れの中で4人になってみたり、名前が変わってみたりと、ご自身も笑みを浮かべて楽しそうに女子会をしているご様子でした。女性職員さんも子育ての経験があるため、その場は会話と笑いが絶えない時間となり、周りにいる方々も賑やかな良い雰囲気の中で過ごされていたように感じました。その後ご高齢のSさんは晴天の中車いすで散歩に出掛けられ、何度か休まれるか確認いたしましたが「大丈夫」とのご返答で久しぶりに横になることなく、近くのお寺の住職様よりお裾分け頂いたパイナップルなどもおやつに召し上がり過ごされました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・みなさんと近所の梅を鑑賞しに散歩へ出かけました。天気もよく太陽の光を浴び、口々に「きもちいいね」との声が聞かれていました。ちょうど卒業式を終えたご家族も記念写真を撮りに来ており、ご利用者からも「おめでとう」のお祝いの声があり、微笑ましい時間が流れていました。何気ない日常の一コマでしたが、大切にしなければいけないなと思うワンシーンでした。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・送迎で通る道路に寒桜が咲き始めています。そこを通るたびにご利用者の方々は「もう桜が咲いているね。ここの道路はまっすぐで見晴らしが良いね。」と話されています。ソメイヨシノの開花はまだ先ですが、一足先に春の訪れを感じるコースでご利用者さんもドライバーのスタッフも心が和むコースです。

・昔の名作を見る企画で、ご利用者から「愛染かつら」が見たいとリクエストがありました。スマホとテレビをつないで映画鑑賞して頂きました。少しでも雰囲気を作るために、カーテンを閉め、（勿論、常時換気）ポップコーンは無かったですが、好きなお飲み物を飲みながら見て頂きました。「あら～懐かしい、上原謙だわ～」とご利用者さんの声があがりました。「上原謙って誰のお父さんでしたっけ？」と職員の質問に「加山雄三」と即答でした。流石、昭和の二枚目俳優はいつまでも皆さんの記憶に残っています。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・ACP会議について：木鶏にて使用した「もしもの時の私の希望」の書式を全家族に郵送し、この書面に書かれている項目に沿って、ご本人、ご家族、そしてスタッフにて話し合いを行いたい旨をお伝えし、現在進めています。ご家族からは、「一度こういう機会を持ちたいと思っていた。スタッフの方が間に入って頂いた方が聞きやすい」との声や、「入居前に家族で済ませているので・・・」と前向きなお話だけでなく、素直なご意見を頂くこともありました。

K・Hさんのご家族からは、是非そういった機会を設けて欲しいとの話を受け、「もしもの時の私の希望」に書かれた項目をピックアップしながら、話し合いを進めていくと、家族より「けっこう鋭い質問もあるんですね」「本人は〇〇って言いましたけど、やっぱり家族としては、この辺だけはお願いしたいかな…」と。

『私の代わりの大切な判断は誰にして欲しいですか？』の項目に差し掛かると、娘さんへの想いが溢れ、涙が止まらなくなり、娘さんがご本人の涙をハンカチで拭いながら、「そう思ってくれてありがとう」・・・とのやりとりに、私の胸も熱くなりました。終了後は、「本人の素直な気持ちを聞くことが出来て良かった。」との返答を頂いております。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・料理イベントを行いました。今回は、おはぎを作りました。あんこ、ごま、きなこの三種類のおはぎを作り、お昼の時間に頂きました。「おはぎは久しぶりに食べるな」、「あんこ、うまいな」とご利用者からお声を頂いております。ご利用者からの声を聴き、行ってくれている職員に感謝しております。ありがとうございます。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・17日ユニットでおはぎ作りを行いました。各ユニットで丸めたり、あんこ、ずんだのあんをからめる作業を一緒に行いました。いつも早食いの方もゆっくりと味わって召し上がっている様子があり、「もう彼岸なんだね～」と毎年恒例の季節を感じるイベントでした。24、25日は出前企画の予定があります。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・18日おはぎ作りを行いました。おはぎを楽しみにされているご利用者が多く、いつもは甘いものを食べないようにしている方もこの日だけはおはぎを食べるとのことで楽しみにされていました。おはぎ作り担当はご利用者の方でお互い声を掛け合い、手際よく、あっという間に完成していました。

「やっぱりおはぎはうまいな」「今日だけはおはぎを食べたかったからよかった」と皆さん喜んで食べていました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・20日手づくりのおはぎを皆さんで食べました。お部屋に仏壇がある方は、「お父ちゃんにも」と、仏壇におはぎをお供えられていました。「今日は念入りにお父ちゃんに話しかけといた」と笑って話されています。

**【3月22日～3月28日】**

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・だいぶ春が芽吹いてきましたので農業園芸センターに出掛けて参りました。様々な草花が咲いている中で、ちょうど梅の花が満開で「一番いい時に来たね」と気分が高揚する方、心地よい風や自然を肌で感じながら散歩する方、ご自宅での出来事を横において草花を愛でる方など、それぞれがコロナ禍での日常の一枚の記憶に残ればいいと願いたいそんな時間となりました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・2月の初めから始まった改修工事も終わりをむかえようとしています。玄関ホールから廊下にかけて綺麗にクロスの張替えをしました。玄関を入ってすぐに季節感を感じられるようにと皆さんと飾る写真を選び、桜の花の造花で廊下を装飾しました。「きれいね。何か明るくなったね」「もう春なのね」「こんなに写真があると飽きないですね」とお声を頂いております。これからも、季節の装飾と皆さんの溢れる笑顔の写真をたくさん飾りたいと思います。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・ここ数日暖かい日が続き、外出する機会を持つようにしています。感染対策をしっかりと行いながら、園芸センターや東照宮など皆さんと一緒に考えながら出かけています。昨日桜の開花宣言も有ったので、今週からは花見に出かけたいとか考えています。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・22日に新規のTさんが引っ越してきました。不安が沢山ありますが、夕食時に大好きな晩酌をしました。隣のOさんも晩酌仲間が出来たと喜ばれていました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・23日は久しぶりの物作りイベント「ブローチ作り」でした。以前に開催した事があり、利用者さんからのリクエストで今回行なったのですが、今回も皆さんに大好評で幕を閉じることが出来ました。翌日、完成したブローチを付けてわかなにいらっしゃる方が多く、こちらも嬉しい気持ちになりました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・ドライブに行きました。梅の花時期にもなり、梅の花を見に行きました。行かれたご利用者からは「きれいに咲いてたよ」「観れて良かった」など久しぶりのドライブを楽しまれておりました。今後もコロナ対策を行いながら、ご利用者の声を大切にしながら、職員と一緒に実現していきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・間もなく、桜の花が開花すると思われますので、利用者さんに今年はどこの場所に桜の花を観賞に行きたいのかを聞きながら可能な限り、それぞれが行きたい場所にご案内しようと考えています。榴ヶ岡公園・塩釜神社・松島・加瀬沼・七ヶ浜方面に行きたいとのご意見が聞かれましたのでタイミングを考えながらご案内したいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・高校野球で大盛り上がりの週でした。やはり、柴田高校の試合当日は朝の送迎車内から、「今日は絶対見ないとね、みんなで応援しないと！」と意気込みが皆さん強く、到着されてからは、皆さんテレビの前にかぶりつくようにして観ていました。「やったー！打ったよ！」と歓声も上がる中、「神様にお願いしないと」と神頼みを始める方もいらっしゃいました。結果は残念でしたが、ご利用者と職員が一丸となって夢中になれた日でした。まだ育英の応援も残っていますので、まだまだ熱い応援は続きます。

・設えでは、ご利用者の方々でホールの壁に、茶色い紐とお花紙で見事なしだれ桜を咲かせてくれました。天気の悪い日でもお花見ができます。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・24日にUさんの誕生会を開催しました。ご本人リクエストのお寿司と手作りのケーキでお祝いしました。

ホームの向かいにある家の桜が咲き始めました。天気を見ながらお散歩をしたり、ドライブにでかけたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・高校野球で地元の柴田高校が出場して、皆で応援しました。最後まで接戦で惜しくも負けてしまいましたが、「いい試合だった」「感動した」という声が聞かれていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・27日桜餅とおはぎ作りをしました。桜の葉の香りを楽しみ、皆さんでお茶を飲みながら食べました。花を待たずに、おいしいお菓子で話に花が咲きました。

・職員全員で動画を視聴し、所感を書きました。一部、ご紹介します。

「入所施設はコロナに罹っても入院する事が難しい、受け入れ先がない場合もある、ということが身近に感じられた動画でした。三密を避け、自分にできる事を問いながら、徹底して行動していかなければ、と改めて思いました。」「重度化しやすい高齢者が医療機関に受け入れてもらえない現実。コロナ禍以前から、認知症というと受け入れ先がなかなか決まらなかったから、今はもっと厳しいのだろうと思う。元の施設や家庭に退院が難しい場合の受け入れ先が増えれば、病院側も安心して受け入れられるのだろうが、このままコロナが増え続けたら…医療が崩壊したら…考えるほど怖くなる。自分の家族が苦しんでいても治療を受けられない状況になったらと考えると本当に悲しい。」

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・ご家族やご友人の方々に日常のご様子がより伝わりやすいように、写真入りのお手紙でお知らせできるよう取り組んでおります。職員の大沼さんより季節感が感じられる背景に、ご入居者のみなさんそれぞれの時間を笑顔で生活されているご様子が伝わる素敵なお手紙を拝見させていただきました。今できることを精一杯取り組まれる職員のみなさんの笑顔もやっぱり素敵です。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・24日(水)の婦人部の皆様で、炊き込みご飯をメインに昼食づくりしてくださいました。食材切から味付までご利用者さん同志が「こんなふうに切ったらいいっちゃね」「味も辛くならないように丁度いい」など話されながら昼食作りを楽しまれているようでした。私もいただきましたが、竹の子にも薄味で素材を活かした味付で、仙台のおふくろの味を堪能させていただきました。

**【3月29日～４月4日】**

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜周辺は3/30頃から桜が見頃です。送迎の際に「咲いている、咲いている！お花見に行かなきゃ」と車中は大盛り上がりです。近くの東照宮も満開で皆さんと出掛けました。「綺麗！最高だったよ！今日が一番いい」と留守番していた職員へ興奮気味に教えてくださいました。職員からは楽しさのあまり転びそうになった方がいた事、写真を撮っていると通りかかった方から「楽しそうでいいですね」と声を掛けられた事、笑顔の報告をたくさんもらいました。桜の下で楽し気な皆さんが目に浮かび、春の訪れとともに心も温かくなりました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・今年もけやきの中庭にツバメが巣つくりに戻ってきました。ご入居者のみなさんも「あら～ツバメだっちゃ～。一生懸命巣つくりしてたんだね～。わたしも頑張って生きないとな～」と穏やかな表情でお話しされております。季節の移り変わりをご入居者のみなさんと一緒に感じられる時間が何とも尊く感じます。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・お風呂場の改修工事が終了しました。騒音などもあり、生活は辛いものがあったと思いますが、ご利用者の協力があり約一か月間のお風呂場などの改修工事が終了しました。完成した日、出来上がったお風呂場をみなさんで見学しました。「あらー綺麗だねー今度からここで入るの？」との声が聞かれております。



■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・桜が開花したかと思えばあっという間に満開になり、連日、ドライブに行きました。「良かったよ！」と満面の笑みで帰られる皆さんにとても癒されました。天候を見ながら、ご利用者さんの声を聴きながら、柔軟に対応してくださった職員さんへ感謝です。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・天気も良かったので、全員で将監、洞雲寺にお花見をしました。皆さん車から降りて桜を見てとても喜ばれておられました。天気も良いので来週もお花見が出来ればと思います。近隣で桜が咲いていたので、日課の散歩をしながら皆さんで見に行きました。匂いを嗅いだり、桜を見て満喫されておりました。何処かに桜を見にいくより、自然と散歩をし桜を見るのでは、また違う楽しみがあると感じました。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・午前中は味わい深い餃子作りをして美味しく召し上がりました。桜が満開を装い近隣の熊野神社へ足を運びました。DHよりも眺められる少し高い位置に鎮座され、いつも地元の皆さんを見護って下さっておりますが、実際に登って見るとけっこう見晴らしもよく、迫力のあるしだれ桜など2種類の桜を間近で感じられました。写真を前に陽気に踊るKさん、生まれが地元のIさんは遠くを眺めていたり、Iさんと同級生のHさんはじ～と桜や風を感じているご様子が見られました。その後表に長テーブルを出して少し早いKさんの誕生会を、品のあるケーキでお祝いさせて頂きました。プレゼントに写真入りの額などを送らせて頂き「いや～こんなにしてもらって～」と、照れながらも感慨深く感謝をされている印象でした。お腹も満たされましたが、心が満たされた時間があったとすれば、それはご本人にとっても、私たち職員にとっても幸せだなと感じる出来事でした。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・桜の開花と共に東照宮、将監～高森、紫山～オープン病院前の桜並木を堪能してきました。車中から見える桜並木に「あ～綺麗ね、素敵だわー」「あそこにもあるよ！」と声も弾まれています。高森公園のベンチに座りながら見上げた桜並木に静かに見入り、桜の枝を手に取りながら顔を見つめ合い笑顔も綻んでいました。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・早速31、1日と桜を見に出掛けました。利用者さんから「きれいだね～」というお言葉も聞かれ笑顔がこぼれたり、「やっぱり桜はいいね、ありがとう」と手を握って下さったりと素敵な表情を見せて頂くことが出来ました。それと同時にスタッフに元気とやりがいを感じさせて頂いたように感じました。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・1日からGHいずみの杜に新卒の跡部未紅さんが入職されております。初日は、緊張と不安が入り混じった様子も見られていましたが、オリエンテーションを行って、ご利用者とコミュニケーションを図っていくうちに徐々に緊張も解けて笑顔でお話しすることが多くなりました。新人さんの声や想いに耳を傾け、一日でも早く仕事に慣れて楽しめるようにしていければと思っています。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・桜の開花が進むにつれご利用者さんからも「桜を見たい」との希望も多く聞かれ、近所の散歩（向陽台は桜の名所が多く）や照宮へドライブに出掛けております。いつもは写真撮影を断られるご利用者さんも、さすがに桜の前では笑顔！！を見せて下さいました。「きれいね、日本に生まれてよかったわ」などの声も聞かれていました。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・ＫＹ様：ご家族見守る中、旅立たれました。コロナが蔓延している中で、母を目の前で看取ることができて感謝しております。との言葉をいただきました。亡くなる3日前、本人の希望もあり、ご家族とともに桜を見に行きました。

・新人さんも、緊張しているようですが頑張っている様子です。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・30日にデリバリーイベントを行いました。各自食べたいお弁当のメニューを観ながら決めました。楽しみされておるご利用者が多く、「どんなお弁当が来るのかな。」、「あそこの弁当はうまいんだ。」と当日を楽しみしておりました。食べながら「美味しいね。」、「量が多いね。」など個人個人が食べたい物を食べて、楽しまれたイベントになりました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・船岡の桜は満開になりました。一目千本桜も咲き誇っています。「桜が咲いたね」という声が皆さんから聞かれ、桜見物にドライブに出かけています。日にちを分け、ゆめみをご利用いただいて皆さん、桜を見る事が出来ています。車中からではありますが、桜が見えると皆さんから「あら～」「きれいだあこと」などと感嘆の声が上がっています。大河原まで足をのばすと「何十年ぶりにここの桜をみました。ありがとう」と話されるかたや、「花より団子なんだけど、出店無いから何も食べられないね」と冗談を言う方や、「来年はコロナも落ち着いて、花見ができると良いね」としみじみと話されるかたもいらっしゃいました。

■いずみの杜診療所：後藤浩樹さん

・濃厚接触者で介護課４名自宅待機に伴い、ホールの状況は厳しいですが、各課連携し頑張っておりました。桜も見頃となり、「マスク着用」・「常時換気」・「少人数」で桜ドライブに出かけております。個別リハの合間・連携室の協力もあり、各ご利用者も「綺麗だった～」と笑顔見られえております。【今しかみられない桜】を大切に想う気持ち、連携、スタッフが少ない中での協力体制に感謝です。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・新卒の近藤愛叶さんは4月1日に配属となりすごく緊張している様子でしたが、先輩職員と一緒に入居者さんの隣で会話し笑顔が多く見られております。1日、2日と研修の為入居者さんと関わる時間が短かったですが、その後勤務は職員と一緒に行動し積極的に声を掛けたりしておりました。まだ不安や悩みは少ないと思いますが、こまめに声がけし楽しく関わりができるようにサポートしていきたいと思います。

■杜の家かぐら：冨沢直人さん

・今週は桜の開花に伴い、皆さんと外出してお花見をする機会を多く持ちました。皆さん待ちわびていた桜の開花に、足取りも軽く公園などを歩かれました。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・4月1日は開所１周年記念だった為、利用者さんと一緒にお祝いをしています。「もう一年たったんだね。」と一年を振りかえり、お寿司を皆さんで食べました。「あら今日はお寿司いいね。久しぶりに食べておいしいね。」「お寿司食べたかったんだよね」と皆さん喜ばれていました。スタッフが家から持ってきた桜の花を皆ながら、おやつには、看護師さんお手製の、桜餅を皆さんで食べています。「今日は盛りだくさんだね。」と皆さん喜ばれていました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・3、4日、送迎の時間を利用して利用者さんに桜の花を観賞して頂いてます。朝・夕の送迎時に公園や神社に咲いている桜の花を観賞して頂いています。天気も良く、ご覧になられた利用者さんからは「すごいね・綺麗だね」と感想が聞かれています。日中の時間の中でも外に出て桜の花を観賞して頂くように関わっていきます。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・ご利用者少人数で桜を見にドライブへ行っております。鶴ケ谷の公園の桜や加瀬沼公園の桜を見て頂き、「綺麗だね」「来て良かった」などお話して頂き、楽しい時間を過ごすことができました。今後も合間をみながらご利用者とのお花見を一緒に楽しめればと思います。